



取り組みのご紹介

ぺあれんと通所リハビリでは、自立に向けて自分達で何かできる事は？と考え、昼食前に各テーブルでランチョンマットを各自で敷こうと、4月12日から始め今では各テーブルの皆で助け合い行っています。

今では定着しています。次はと欲が湧き、第二段！！
食べ終わったお茶碗を重ねる事に。各テーブルの皆が自分でできる事を助け合いながら、職員さんの力も借りながら、ちよつとずつちよつとずつ頑張っています。

職員さん ありがとう♡

西村賀津江



今年の4月5日から、ぺあれんと通所リハビリに通っています。
膝が悪くなり、歩くのもやっとで家での生活がどうなるか不安でした。最初は車イスでトイレに連れて行ってもらったけど、今はリハビリのお蔭で足も善くなってきて、一人でトイレに行けるようになりました。

リハビリ、訓練をして歩けるようになって感謝です。
これからもぺあれんとで頑張ります。

丸地孝江



旬な魚の豆知識 (太刀魚 編)



太刀魚は8月から11月くらいが旬なんですよ♪
この魚は、立って群れで泳ぎ行動をしています。
夜行性で夜活発に泳いで、釣人には人気があります。
全身が銀色に輝き、触っただけで切れるほど鋭い歯を持っていて、気を付けないと指がちぎれます。
(怖いですね(°Д°))

うろこは無く銀色の表面は、真珠のつや出しやマニキュアなどに使うんですよ。

太刀魚は塩焼きで食卓によく出ますが、煮付けでもとても美味しいんですよ♡是非！食べてみてくださいね。(小さい所は唐揚げなど)

鮮度が良い物は、お刺身がオススメですよ。

昔はお手頃でしたが、今は魚が大変高くなりましたね。

西村賀津江

明治からの宇部



「宇部の神様」こと渡邊祐策が沖ノ山炭鉱の採掘に成功したのは明治30年。同時期には神原炭鉱、西沖ノ山炭鉱、東見初炭鉱などが次々と造られ、多くの労働者を迎え入れた。その人口増加は凄まじく、大正10年には宇部村から一気に市へと変わった。

渡邊祐策は炭鉱のほか宇部新川鉄工所・宇部窒素工業・宇部セメント製造など、後の「宇部興産」につながる事業を次々と興したほか、宇部電気会社や宇部軽便鉄道の創業、沖の山家庭学校の開校など街の発展に大きく貢献した。

第2次世界大戦で宇部市は大きな戦災を被るが、戦後の石炭景気に支えられ、順調に復興。主要燃料が石炭から石油に変わっても素早く対応し、近代的な工業都市へと変貌を遂げていった。

しかし急激な工業化は大気汚染などの公害問題を引き起こした。この解決に向け、産官学民が一体となった「宇部方式」で環境改善に取り組み、その後の都市緑化や花いっぱい運動、公園整備といった様々な分野へと展開。

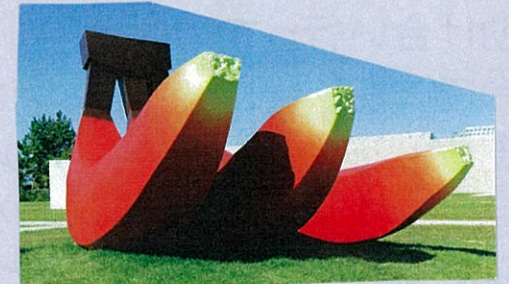
特に彫刻によるまちづくりは国内初の事例とされ、世界で最も歴史のある野外彫刻の国際コンクール『UBEビエンナーレ』へとつながってゆく。

市内随所で彫刻作品が見られるなど、宇部市は「緑と花と彫刻のまち」として大きく生まれ変わった。

竹山 満昭



UBEビエンナーレ



私たちが作っています



ぺあれんと通所リハビリかわらばん 第1号
無事に発行することができました。

ぺあれんと通所リハビリでは、
ご利用者さま懇談会を毎月第1金曜
・第2木曜に行っています。

私たちは第1金曜日のメンバーです。
今後も定期的にかわらばんを発行して
いきますので、是非ご覧ください。

第2号をお楽しみに！

